

デジタルペン協働学習ツール『OpenNOTEーオープンノートー』のご紹介

「紙とペン」を用いた協働学習ツールについてご案内させていただきます。本製品は今年の春より本格的に紹介を開始し、すでに複数自治体（岩手県、愛知県、宮崎県下の自治体など）で採用いただきました。

■ 「いつもの授業」に「デジタル」の良さを！

学校では「紙とペン」による授業の文化が脈々と流れています。

デジタルペン協働学習ツールは「紙とペン」を用い、これまでの授業を大きく変えることなくデジタルの良さを享受できる教具です。ICTに苦手意識を持つ先生でも「手軽に利用できる」とご評価いただいております。

■ 現場の先生方、各地の教育委員会担当者様の声

・すぐに使えるICT！

弊社では昨年度、国内約20校に本ツールのお貸し出しし、授業評価いただきました。その結果9割の学校が「導入後すぐ使える」とご意見をいただいております。

・導入した電子黒板を活用できる！

電子黒板を導入された自治体・学校からは、「普通教室で電子黒板を利用する際に有効なツール」「子どもたちのノートを電子黒板のコンテンツにできる」と好評です。

・1時間の授業で子どもが変わった！

デジタルペン協働学習ツールは、解答・表現過程（手書きイメージ）を再生できます。学識者からも、思考のプロセスが可視化されることで、他者との違いが理解でき“思考を深める”ことができる」と評価いただいております。再生機能は、例えば数学や図工の授業で活用されますが、1時間の授業で子どもの変化を示す授業実践例も発表されております。

・日常性のあるICT！

1～6年までの全学年、全ての主要科目（国算理社）で1年を通じて利用いただいております。

・タブレットやiPadがもっと使える！ 組み合わせ利用が効果的。

複数の学校で、タブレットやiPadの調べ学習時に、意見をまとめ・発表する流れの中で「紙とデジタルペン」を併用。表示されたコンテンツを閲覧しながら意見をまとめられるため、子どもたちは画面の切替に神経を使うことなく、集中して考えることができます。タブレットやiPadの横で“思考の出力端末”として活躍するのがデジタルペンです。

■ 25年度導入に向けて20自治体がモニター利用を計画中！（24年度9月）

国内での本格販売は本年3月からですが、岩手、愛知、宮崎など5県10超の自治体（100校以上）で導入が具体化しつつあります。25年度予算に向けては、20都道府県30を超える市区町村で予算化検討が進んでおり、すでに20自治体がモニター利用を計画中です。貴自治体でもぜひご検討いただければ幸いです。